

風テラス

2023-2024

# 風テラス

## 2023-2024

- 01 目指す社会と  
使命をあらたに
  - 02 ありのままを  
話せる相談窓口として
  - 03 年間相談者数4,503名
  - 04 相談は十人十色
  - 05 ウェブ広告で  
私たちを伝える
  - 06 つながった先に見えたもの
  - 07 食料支援×ヒアリング
  - 08 女の子たちの  
60分フリー
  - 09 夜職サミット2023  
メディア協力
  - 10 講演会・研修  
啓発コンテンツ
  - 11 スタッフ・  
メンバーより
  - 12 財務会計報告
- Special Thanks !

# 目指す社会と使命を あらたに

01



## ビジョン

だれもが「今日の安心」と「明日の選択肢」を得られる社会

## ミッション

夜の世界で生きる人の「今」を受けとめ、「次」につなげる

2024年現在、国内には性風俗に従事する女性が40万人以上いるとされています。

この中には、生活に困窮し、家族や職場に排除され、毎日を心安らかに過ごすことができずさまよう人がいます。疲れ果て、自分がどうなりたいのか、どんな将来が描けるのかもわからず、目の前の現実に身をゆだね、途方に暮れている方もいます。

そんな方々が、力と勇気をふりしぼり、私たちの窓口に「助けて」と言ってきたとき、「相談してくれてありがとうございます。悔しかったね。がんばってきましたね」と声をかける相談員がいます。

受けとめるだけでは何も解決しない、と思う人もいるかもしれません。それでも、私たちは一人一人の「今」と、気持ちを受けとめることをやめません。受けとめることが、次に進む勇気、生きる希望になると信じているからです。

そして、これまで掲げてきたビジョン「法的・福祉的支援を受けることができる社会」のその先に、たくさんの希望や選択肢が裾野のように広がる社会をイメージし、夜の世界で働かざるを得なかった人々が自由にはばたける未来を考えました。

「もう大丈夫、安心して一緒に将来を考えましょうね」。そう胸を張って、励まし、支え合える社会が広がることを願い、2023年度にビジョンミッションをあらたにしました。

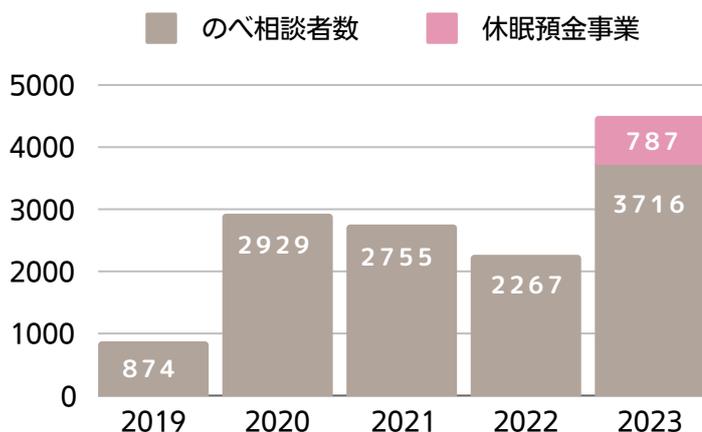
# ありのままを 話せる相談窓口として

## 団体概要

2015年10月  
2020年4月  
2022年4月

東京・鶯谷の性風俗店で無料相談会を開始  
コロナ禍を機にSNS相談を本格化  
NPO法人化

### 風テラスの年間相談者数



常勤2名  
業務委託ソーシャルワーカー4名  
業務委託契約弁護士5名  
インターン・プロボノ9名  
理事会4名（理事3・監事1）

全国各地からオンラインで相談を受け付けているリモート中心の団体です  
（2024年8月現在）

## SNS相談

### オンライン相談

LINEやメールでの相談対応



どんな相談でもOK

### 通話での相談

LINE通話での相談対応



緊急性が高い  
テキストのやりとりが難しい

### 弁護士×SW 通話・対面相談

弁護士とソーシャルワーカーの協働



専門的なアドバイス

## 食料支援

### 全国の世帯 個別配送



## 社会への啓発

### 交流イベント



### 研修・講演



## 当事者向けコンテンツ制作・発信

### 啓発マンガ コラム



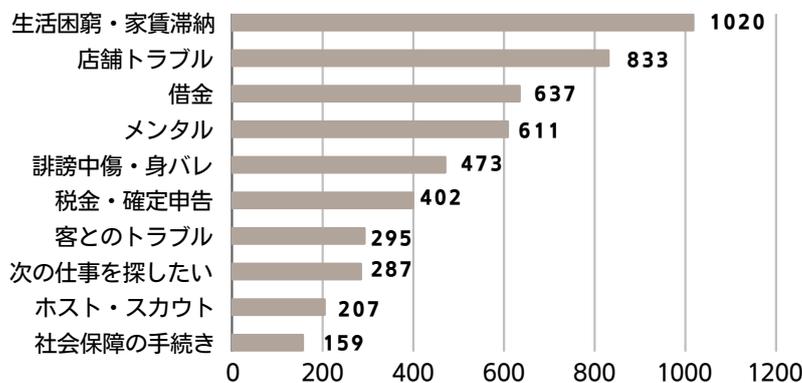
### Xで発信



# 相談者数4,503名

2023年統計 03

2023年1～12月の相談件数は、休眠預金活用事業の787件を合わせて全体でのべ4,503件と、過去最多の相談者数となりました。そのうち、弁護士とソーシャルワーカー（SW）が通話や対面で対応した人数はのべ408名、食料を発送した世帯はのべ211世帯に達しました。



最も多かった相談は、「生活困窮・家賃滞納」でした。賃貸の保証会社から家賃を滞納について連日催促がくるが、引っ越しするお金もない、家賃が高すぎて生活保護も利用できないといった状況に追い込まれる人もいます。風俗で働いても収入を得ることができず、むしろ困窮してしまう状況があるのです。

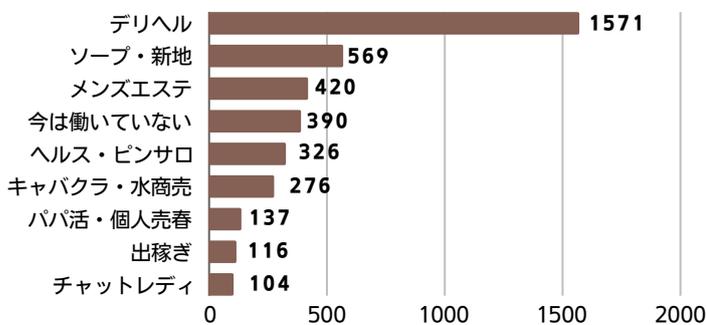
「店舗トラブル」は2番目に多い相談内容でした。休眠預金活用事業のSNS広告をきっかけに、水商売（ガールズバー、キャバクラ、ラウンジ等）で働く女性からの給与の未払いに関する相談が多数寄せられたことが要因でもありました。

夜職や風俗業界には独自のルールや文化があり、高額収入を得るチャンスがある一方、トラブルが起こった際、法律や労働基準監督署が守ってくれないという問題があります。

※本ページの統計の数値はすべて「のべ」数になります。

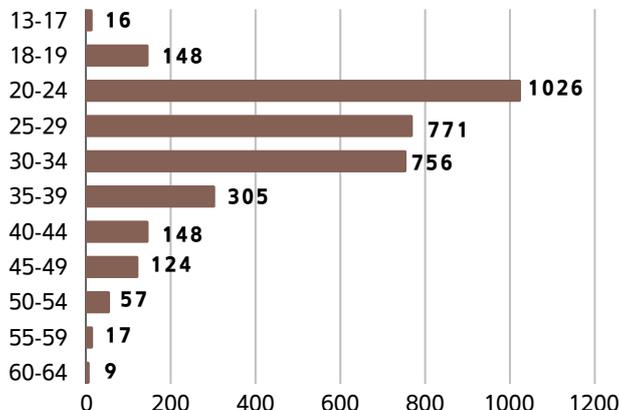
## 業種

2023年はソープがデリヘルに次いで2番目に多い業種でした。これは昨今のホストの売掛問題が影響しているとも考えられます。高額な売掛を抱えた女性がまとまった金額を得るためにソープを選ぶことがあります。「今は働いていない」方からの相談も多く、「ネットに残っている画像を消してほしい」「昼の仕事が安定しない」という声も寄せられ、辞めた後もリスクや悩みが続いている方もいます。



## 相談者の年齢

最も多いのは、20代前半（20歳～24歳）の層です。休眠預金活用事業による広告の効果で、10代の相談者も増えましたが、風俗従事者のボリュームゾーンは、20代前半であることが伺えました。短期間で高収入を得られる夜職のメリットは、年齢を重ねるごとに得づらくなり、加齢にともなって収入が減り、危険な接客などリスクを背負わされる傾向がありました。

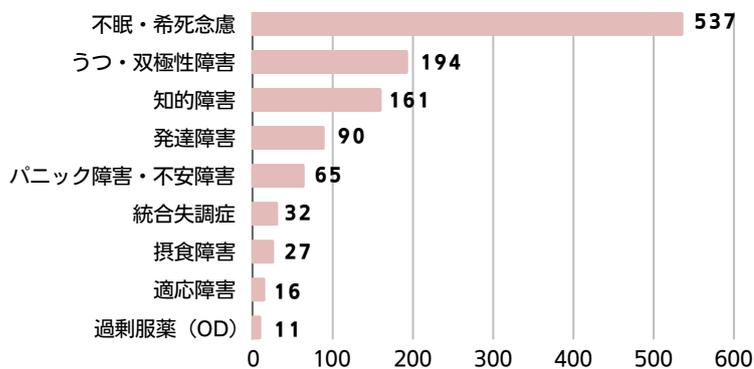


※年齢不明はのべ1877人。40歳以上の人数については休眠預金活用事業の値（16人）は含んでいません。

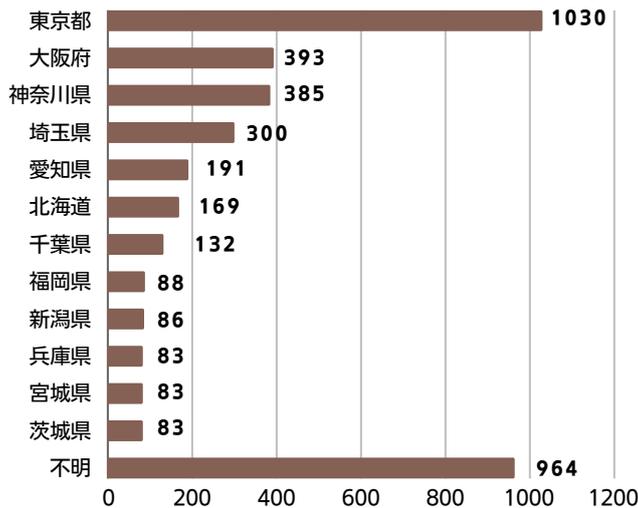
## 障害・病気

困窮の背景に、不眠や希死念慮などのメンタル不調、うつ病・双極性障害がある方が一定数います。知的障害や発達障害があり、家庭や昼職での人間関係がうまく行かず夜の世界に入る人も少なくありません。相談者の約3割が「何らかの障害・病気がある」と自己申告しました。

障害や病気が理由で、本当は働きたいけれども、風俗の仕事を選ばざるをえないという人が増加する状況は、社会福祉と精神医療に突きつけられている大きな課題でもあります。



## 相談者の住所



# 相談は十人十色

風テラスの相談窓口の特徴は、風俗で働いている・働いていた人であれば、「どんな相談」も受けるところです。「店から罰金を取られた」「ホストの売掛が払えない」といった相談から、「ペットのごはんが買えない」も「お茶（＝客が付かない）が続いている」といった悩みも、風俗で働いているという属性の方であれば、どんな相談も断りません。

それは、ひとえに「相談する」という経験を積み重ねてほしいということと、課題が深刻化する前に風テラスの相談窓口や、誰かに相談するという選択肢が、脳裏をよぎってほしいという私たちの思いがあります。

多額の借金を風俗で働きながら返し続けていた人、福祉的支援を利用できる対象者なのにその制度を知らなかった人など、「もっと早く相談していれば」と後悔するような人を減らし、一人でも多くの方が、できるだけ早く相談につながる努力を続けています。

## 支援の推移イメージ

初回 法律相談会複数回・個別受任、就労移行支援の接続、自助グループ3回 3年後

客とのトラブルなどで法律相談	法律×SW 対面相談	法律×SW 対面相談	法律×SW 対面相談	夜職以外の仕事につきたい (自信がない)	就労移行支援事業所の提案 ⇒通所	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	就労への不安など	通話相談を提案
----------------	------------	------------	------------	----------------------	------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------	---------

就労移行支援事業所に通所後もメンタルの落ち込みなどの際、弱音を吐ける場として関わりを継続中

初回 チャットのやりとり約90回 + 移行後、60回＝計150回 3カ月後

法律×SW 通話相談	家賃滞納 ころのさびしさ	隣人トラブル	法テラスなど情報提供 ⇒区の法律相談を利用
------------	--------------	--------	-----------------------

初回の法律SW相談が継続支援のきっかけとなったケース

家賃滞納で管理会社からの催促がこわい

このページでは、相談のきっかけやアプローチは、多種多様であることを示したいと考え、相談してくださった方の支援の経緯を匿名化して図で表しました。

困りごとの背景に「さびしさ」や「不安」がある人や、スポット的な通話相談だけでなく、日々のチャットの呼びかけや「女の子たちの60分フリー」など、様々なステップを重ねながら少しずつ社会に出ていく準備をしている人たちがいます。

劇的なステップアップや好転ではないかもしれませんが、風テラスの窓口を訪れ、成長していく方々を、これからも見つめたいと思います。

初回 4カ月後

法律×SW 通話相談	地元へ転居、地元の無料カウンセリングなどの情報を提供 ★連携先があったため情報提供ができた	地元の民間団体につながる ★夜職女性に理解がある団体がフォロー	LINEブロック (一旦卒業)				
------------	------------	------------	------------	------------	---	---------------------------------	-----------------

初回 チャットのやりとり約440回 通話2回 自助グループ5回 8カ月後

障害年金だけでは不安 別の病気に罹患 周囲が理解してくれない	法律×SW 通話相談	まわりがイヤだ	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	まわりがイヤだ	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	しゃべり場「女の子たちの60分フリー」	離婚を希望	通話相談を提案
--------------------------------	------------	---------	---------------------	---------------------	---------	---------------------	---------------------	---------------------	-------	---------

弁護士やSWから障害があることで不利益があってはいけないとアドバイス 特性の良い面にフォーカスしたエンパワメントなどを旨とした

# ウェブ広告で私たちを伝える



リアルタイム相談会をオンラインで対応する相談員メンバー

▼Xで発信した広告の一例



## 休眠預金活用事業 風俗で働く若年女性へのアウトリーチ事業

(2023年8月1日～2024年2月29日)

性風俗で働く10～30代を対象に、風テラスの相談窓口を周知するSNS広告や検索連動広告を活用し、専用の相談窓口で集中的に対応しました。チャットでの情報提供や傾聴をはじめ、ソーシャルワーカーと弁護士がLINE通話で相談に応じる「リアルタイム相談会」を週2回開催し、個人間トラブルや緊急性の高い困窮事案にも迅速に対応することができました。特に性風俗や水商売に参入したばかりの若年層が適切な窓口や人に相談できる「受援経験」を育んでもらうことを目指しました。

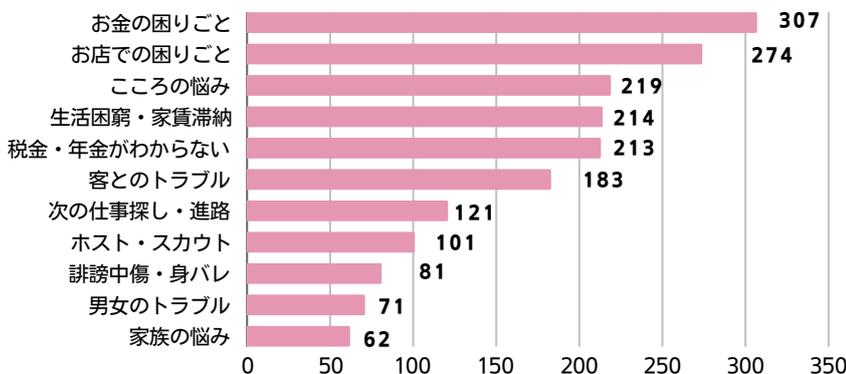
期間中、これまで風テラスの相談窓口を知らなかった延べ1,300名以上とチャットのやりとりを行い、192名と通話でつながることができました。「自分の困りごとは誰かに相談することで解決できる」という経験が、ひとりでも多くの方の生きる力になってほしいという思いで事業を展開しました。

1,325名

チャット対応者数 のべ

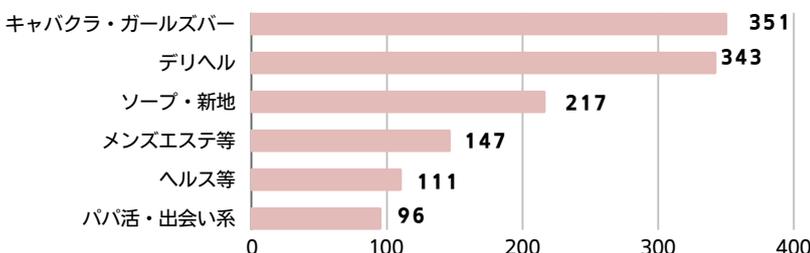
192名

LINE通話相談 のべ



### 夜職全般に訴求

同事業ではキャバクラやガールズバーなど水商売で働く方からの相談にも対応しました。性風俗に比べ、足を踏み入れやすい水商売の世界でも思うように働けず、「賃金の未払い」や「罰金」などのトラブルに見舞われ、困窮する相談が多数ありました。早期に適切な相談先につながることで同時に、困った若者たちの受け皿が社会に整っていないことを痛感する事業ともなりました。



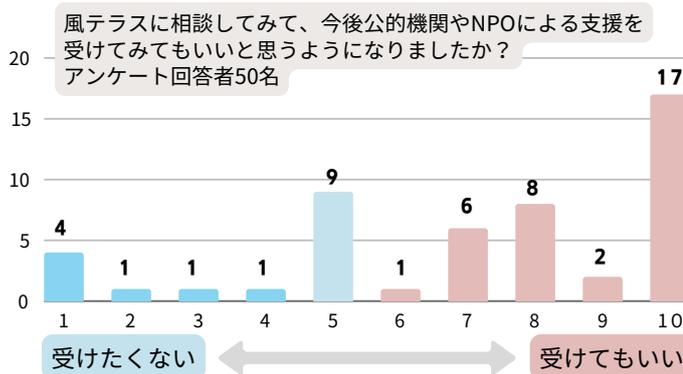
### 広告を出稿した媒体

- Google (検索連動型広告)
- Yahoo! (検索連動型広告)
- X (フォロワーターゲティング)
- ・ Instagram
- ・ YouTube

# つながった先に見えたもの



木下大生  
風テラス相談員  
武蔵野大学教授



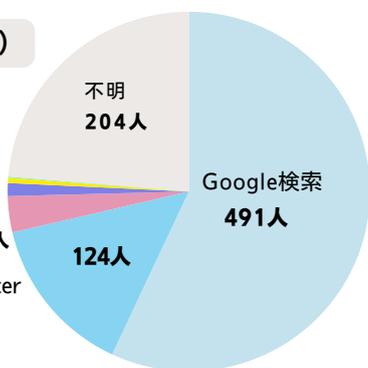
## 社会のスティグマを取り除くことが不可欠

今回、性風俗に従事する若年女性の支援に携わる中で感じたことは、公的支援の不足と性風俗に対するスティグマ（偏見や差別）の根強さの2つです。この2つの問題は密接に関連しています。公的な支援は一定程度存在するものの、性風俗に従事していることを相談窓口で打ち明けると、途端に支援対象とならないことが告げられることが少なくありません。このような経験をした相談者が多く見受けられ、社会に根づくスティグマの深さを痛感せざるを得ませんでした。

このスティグマが、相談者自身の相談窓口へのアクセスを妨げ、支援を受けるハードルを高くしていると感じてきました。私に対応した多くの相談者が「性風俗で働いていることを正直に話せる場所がこれまでなかった」と述べていたことも非常に印象的でありました。このような状況を改善するためには、性風俗に従事する女性たちに対する社会的な理解を深め、スティグマを取り除くことが不可欠です。公的支援の体制を見直し、各相談窓口のトレーニングやガイドラインの整備を進めることで、適切な支援を受けられる環境が整えられることが望まれています。

### 相談経路（新規）

- YouTube 1人
- Instagram 4人
- Yahoo!検索 10人
- 口コミ（同業者）28人
- X・旧Twitter



しなきゃいけないことに怖がって踏み出せずに相談しました。結局それはしなければならなかったけど、相談をしていなかったらもっと大変なことになっていたし、それを教えてくれたから怖くてもちゃんとすることができました。



直接的な解決にはつながらなかったものの、話を聞いてくださり、解決に向けて一緒に考えてくださったことがとても嬉しく有難かったです。



休眠預金活用事業の専用SNS相談を利用した相談者からの感想より抜粋



坂爪真吾  
風テラス理事長

## 全国に現場の知見を届けたい

SNS広告や検索連動広告を通じたアプローチによって、見えづらく、つながりづらい存在だとみられてきた性風俗の世界で働く若年女性たちに、適切な情報や福祉的法的な支援を届けられたことは大きな成果でした。広告のターゲット設定を練り直すことで、風テラスのSNS相談窓口を訪れるまでにかかる広告費用を明らかにすることもできました。

2024年度には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されましたが、「困難を抱えた若年女性が、自分たちの地域のどこに・どのくらいいるのかわからない」「いつ・どこで・何をすれば、彼女たちにリーチできるのかわからない」「SNS相談をやってみたけれど、ほとんど相談が来ない」といった悩みを抱えている自治体は少なくないと思います。

今回の事業で得られた知見とこれまでの相談支援の蓄積を活かして、今後は全国の自治体に困難を抱えた女性とつながるための方法を伝え、性風俗の世界で孤立・困窮している女性たちが、全国各地の地域の窓口で、身の上を隠すことなく支援を受けられる社会の実現を目指していきたいと考えています。

# 食料支援×ヒアリング

2021年の年明けから始まった食料支援は、3年目の2023年の春に新たなサポートを加えました。

食料を希望する人に対して、ひとりひとりの生活や課題を聞き取る「食料支援ヒアリング」を導入し、食料支援をきっかけに生活改善などの伴走をしたいと考えたからです。

また、全体の相談の増加が続き、人手や資金が追いつかない中で、食料支援の事業を継続することは厳しい状況でもありました。大勢に迅速に食品を届けるコロナ禍の局面が終わったことや、利用が長期化していた一人ずつの課題をひもとく方向にかじを切ることで、食料支援が終了しても見守りを続けられる関係構築を目指しました。

当然、課題に向き合うパワーが残っていない人、向き合えない人もいました。空腹や困窮から支援を求めて、相談される方が後を絶ちませんでした。「今はダメな自分も許してあげてください」「でも、ずっと食べ物を送ることはできないから、次の生活を一緒に考えましょう」と見守る一年でした。食料支援の終了後もつながり続けている女性もあり、近況を報告してくれることが私たちの励みになっています。

## 食料の発送回数（のべ）

合計	577回
2024 1～3月	30回
2023	211回
2022	278回
2021	48回

※2023年はシングルマザー世帯へのごはん応援プロジェクト（3月）の30世帯含む



## 「自分の話をする」大切さ



ソーシャルワーカー相談員の佐藤さんは、食料を発送する前のヒアリングを1年間担当してきました。毎月、本人たちの話を聞くうちに感じたことがありました。

**食料を送るだけでは解決にはつながらない。本人も私も本当のニーズに向き合う必要があると思いました。**

コロナ禍で始まった風テラスの食料支援は、緊急性の点からも簡単に利用できました。その利便性によって、本人も本来の問題解決をすることなく、むしろ『その問題を解決しなくても大丈夫』といった誤学習のような状況になっていたのではないかと想像します。一方、2023年度に始めたヒアリングは、本人にとって、毎月、自分の気持ちや生活状況を具体的に話すという強いストレスもあったのだらうと思います。実際に「話をする必要があるの?」といったメッセージが届いたこともありました・・・

**けれども、人と話すことで気持ちを整理することや、相談者自身も自分の問題に気づくことができたこと、そして、風テラスが何を話しても大丈夫な場所だと気づいたことで、「自分の話をする」ハードルが下がり、話すことへの安心感を得ることができたのではないかと思います。**

このような体験を積み重ねることで、自分の力で地域の窓口に出向くことができた人もいました。また、「気持ちを聞いてほしい」と今もつながっている人もいます。

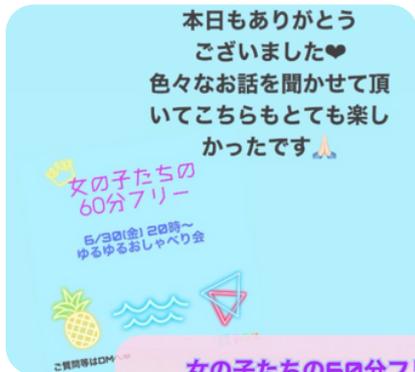
**それは甘えではなく、生きる力だと感じています。そう考えた時、ヒアリングによって伴走できた食料支援は、風俗で働く女性たちが社会につながる大きなきっかけになれたのではないかと感じています。**



▲学生時代からインターンとして3年以上活動してくれたはるちゃんが街角のアジサイをチェキで撮影。食品に同梱しました

# 女の子たちの 60分フリー

08



参加者が安心してプライベートな事や自分の気持ちを語り合えるオンラインのしゃべり場として、2022年夏から始まりました。「女の子たちの60分フリー」という名称には、「自分のために60分間を大切に使ってほしい」という思いが込められています。

2年目となる2023年度も、どうしたら夜職の女性同士がつながることができるのか、オンラインツールの選定や発信方法などを毎回、試行錯誤してきました。

参加した人がホッとでき、肩の荷を下ろし、また参加したいと思える場になるよう、関わるスタッフ同士もコミュニケーションを重ね、参加者と一緒に変化しつづける活動です。



## 12回 284人 Xスペース 4~9月

X (旧Twitter) の音声配信サービス「スペース」を活用したオンライントークを展開しました。お題を決めて語る会やフリートークなど、その場に参加してくれたリスナーさんと一緒に楽しい時間を作っていました。

## LINEミーティング 10~3月 6回 23人



10月からは、LINE通話/LINEミーティングを採用しました。安全に参加することができ、他の人のトークにLINEスタンプでリアクションもできます。話をさえぎらない、アドバイスを押し付けけないなど、参加ルールを守りながら、毎回なごやかに時間が流れました。

### 弱さやつらさを分かち合う

#### 【プロボノファシリテーター・つかささん】

夜の世界で働く、働いたことのある女性たちのありのままの気持ちを話すこの場を立ち上げ、2年が経ちました。初回の参加者は「1人」！たくさんの試行錯誤を経て、いまは毎回参加してくださる常連さん、時々顔を見せてくれるリピーターさんがいらっしゃるようになりました。

風俗業界は競い合い、傷つけ合いはあっても、弱さやつらさの分かち合いが少ない。SNSの情報は氾濫しているけど、生の声を聞く場はない。60分フリーでは、そんな彼女たちの状況に寄り添い、仕事の悩みや普段思っていることなど、様々な話題を率直に話して、共感的に受け止めるファシリテーター、サポーターとして関わってきました。

『安心できる場』で話すことで、少しでも元気になって、明日を生き抜く力を得てほしいと願っています。

# 夜職サミット2023

09

夜職サミットは「夜の世界と社会をつなぐ」をテーマにしたトークイベントです。夜の世界で働く人たち同士がつながる場をつくり、昼の世界からは見えづらい夜の世界で起こっている課題を社会に発信していくために、毎回多彩なゲストを招いて開催しています。

2023年6月の『風俗講師たちの女子会』では、風俗講師として活躍されている風俗プロ講師会社Mermaidの嶋田ななさん、ヒメクリのさくらさん、ジェルムのゆうさんの3名をゲストに招き、風俗講師という仕事の実情や風俗講師のキャリアなどについて語りました。

2024年1月に開催した『困難女性支援法の施行前夜に考える「歌舞伎町の路上売春」』では、東京・歌舞伎町の路上売春の現場にアウトリーチして女性の支援を行っているNPO法人レスキュー・ハブ代表の坂本新さんと、作家の鈴木涼美さんをゲストに、路上に立つ女性たちの現状や背景にある課題について語りました。

## 歌舞伎町の路上売春 2024年1月 …参加者54人



風俗講師たちの女子会  
2023年6月 …参加者33人



## メディア協力

### 2023

- ◆ 毎日新聞 ホストで売春を促す行為が横行との記事に理事長・坂爪真吾がコメント(2023/4/28)
- ◆ 北海道放送 (TBC系列) HBCドキュメンタリー「閉じ込められた女性たち 孤立出産とグレーゾーン」で相談員・橋本久美子、プロボノが取材協力、TBSドキュメンタリー「解放区」(2023/5/21) 同内容で放送
- ◆ NHKニュース ホストの売掛問題に関して、副理事長・徳田玲亜がコメント (2023/11/16)

### 2024

- ◆ 医学雑誌『THE LANCET』「デジタル時代における日本のセックスワーク非犯罪化からの教訓」(Lessons from Japan's sex work decriminalisation in the digital age) Vol403, January 27, 2024 群馬県・利根中央病院の鈴木陽介医師らの執筆に資料協力
- ◆ 中日新聞 2024年3月29日付夕刊連載『あの人に迫る』理事長・坂爪真吾のロングインタビュー

# 講演会・研修

10

- 2023/4/20 アルファ医療専門学校（東京都）性風俗と社会福祉
- 2023/5/22 『風テラス』の取組から考える弁護士とSWの協働
- 2023/6/23 東京大学・法と社会と人権ゼミ
- 2023/7/19 上智大学社会福祉学科（新藤ゼミ）性風俗と妊娠葛藤相談

- 2023/7/22 全国妊娠SOSネットワーク（愛知研修・アドバンス編）
- 2023/7/30 にんしんSOS青森・アドバンス編
- 2023/9/2 全国妊娠SOSネットワーク（岐阜研修・アドバンス編）

- 2023/9/8 新潟県つながりサポート会議
- 2023/9/15 新潟県労協ライフサポート講演

- 2023/11/16 にいがた被害者支援センター
- 2023/12/16 NPO法人「女のスペース・にいがた」パネルディスカッション
- 2023/12/16 群馬県助産師会研修会

- 2024/3/11 困難を抱えた女性たちに「確実に届く」SNS相談とは  
（自治体職員限定オンラインセミナー）
- 2024/3/24 東京社会福祉士会司法福祉公開講座  
推し活が犯罪に変わるとき—何が彼女をそうさせた？ホスト依存の実態と背景



名古屋市内での妊娠葛藤相談窓口の相談員に向けた研修で理事長・坂爪真吾が登壇

## 講演・研修のご依頼

皆さまの抱える課題を踏まえて講義内容や登壇者を提案しています。性風俗や夜職で働く方の抱える不安や悩み、困難やトラブルを解説し、当事者に寄り添う支援を一緒に考えるグループワーク等の研修プログラムも提供をしております。

お問い合わせは [info@futeras.org](mailto:info@futeras.org)  
HPの「お問い合わせ」メニューよりお願いします

困難を抱えた女性たちに「確実に届く」SNS相談とは

（自治体職員限定）

夜の世界で孤立・困難している女性  
4503名の相談データから考える

2024年3月11日（月）  
15:00-16:30 オンライン開催（無料）  
主催：NPO法人風テラス

## 啓発コンテンツ 2023年度の製作一覧

### コラム

- ◆ 梅毒は放置しないで！正しい知識で正しく検査&治療！
- ◆ 身近な依存、「買い物依存」から依存症のプロセスを知ろう
- ◆ 住民税の申告書、どうやって書けばいいの？
- ◆ 盗撮に関する法律が変わりました
- ◆ 性犯罪に関する法律が変わりました
- ◆ その広告、本当に信じて大丈夫？
- ◆ 名義貸しはダメ、ゼッタイ

### マンガ

- 飲まずにはいられない・・・薬への依存、どうすればいい？
- お客さんとの行為で妊娠してしまった…どうすればいい？
- ピンサロでの退店トラブル、どうすればいい…？
- 掲示板やSNSでの誹謗中傷、どうすればいい？
- 履歴書の空白、どうやって埋めればいい？

### 啓発マンガ冊子を発送します

2020年から発行する啓発マンガ「あしたの嬢」では、生活困窮、借金、性暴力、離婚、SNSの誹謗中傷など、夜職女性が抱えやすいトラブルについて、解決策や対処法を解説しています。1話4ページの読みやすい内容を目指して作成しています。作画は「リアル風俗嬢日記」などを手がける漫画家のΩ子さんです。第1～18話までをまとめた冊子のお問い合わせは、[info@futeras.org](mailto:info@futeras.org) まで。自治体や支援団体には無料で発送しております。また、ホームページでも全話無料で閲覧できます。



# スタッフ・メンバーより



## 橋本久美子

風テラス相談員  
ソーシャルワーカー  
精神保健福祉士

私はソーシャルワーカーとして長く女性支援に携わっています。2015年に関わりのあった弁護士とともに池袋の風俗店の待機部屋へ、それが風テラスとの始まりです。コロナ禍の中でオンライン相談に切り替え、それが全国から寄せられる「女の子」たちの声を聴く始まりとなりました。

風テラスに寄せられる「女の子」たちの声から「困難を抱えた女性たち」の姿がみえてきます。寄せられる相談は私の目の前に現れる女性たちとかさなります。

「個人的なことは社会的なこと」。風俗で働く「女の子」たちの抱える困難に向き合い、社会に伝えていかななくてはと思っています。



## 三上早紀

風テラス相談員  
弁護士

弁護士相談員として日々寄せられる相談に、ソーシャルワーカーとともに通話や対面に対応しています。中には性被害はじめ深刻で緊急を要するトラブルもありますが、性風俗業に従事していることを周囲に隠しているがためになかなか相談につながらずにいたケースも多々あります。私たちに相談することも、きっとものすごく勇気のいる選択だったのだろうと思います。

相談員としては、勇気を振り絞って相談してくれたことに感謝し、それぞれが置かれた状況に心を寄せて相談に向き合っています。相談者もそのトラブル相手も匿名であることも多く、反社会勢力や半グレといった法的解決に馴染まない人が関与していると思われるトラブルもあり、弁護士としての力量が問われる場面もあります。その分、解決を見届けたときの喜びはひとしおです。



## 徳田玲亜

風テラス副理事長  
相談員・弁護士

2023年もたくさんの相談をお受けしました。相談の内容は様々ですが、相談者を見ていると、「自分を大事にすること」の難しさを感じます。その根底には、誰かに大事にされた経験の乏しさがあるのではと推察しています。相談に応えることはもちろんのこと、「あなたは一人の価値ある存在だ」と伝え続けた1年でした。



## インターン ともちゃん

自助グループ「女の子たちの60分フリー」を運営したり、毎月活動報告を書いたりして風テラスの活動に関わってきました。メンバー同士の交流も盛んで、オンラインだけでなく、総会や交流会、イベント・夜職サミット等、対面でお話しする機会も多かったです！

様々なバックグラウンドやスキルを持つメンバーが揃っているので、会うたびに新しい情報や刺激を得ていました。風テラスのスタッフや相談者の方々から学んだことは決して忘れません！かけがえのない経験でした。



## ちばさん

風テラス相談員  
ソーシャルワーカー  
社会福祉士

海外に転居した頃から参加し、相談業務をサポートしてきました。1日30~40名の方のお話を聴き、私たちの相談窓口のニーズの高さを痛感しています。じっくりお話を聴きたくても、なかなかそうもいかないときには、「力不足なのは…」と葛藤することもあります。人生の理不尽、社会の荒波に飲まれそうになりながらも、前を向こうと踏み出す人たちが、希望やつながりを感じられる社会であってほしいと思います。

今は1万キロ離れた地から微力を尽くすことしかできませんが、相談者さんからのお礼や近況報告、風テラスを支えてくださる方々からの応援メッセージに、私も励まされ、勇気をもらっています。



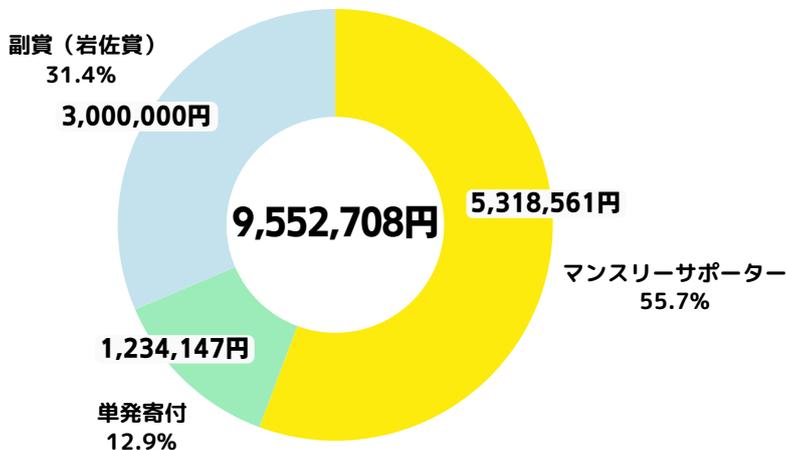
## インターン M・Kさん

学生時代からインターンとして2年間ほど関わらせていただきました。2023年度は時間がなかったため、あまり貢献できませんでしたが、イベントのお手伝いをさせていただくなど、勉強になる機会が多く助かっています。今後もなんらかの形で風テラスと関わりながら、ともに成長していけたら幸いです。

# 財務会計報告

	科目	2023年度実績
経常収益	受取会費	正会員会費 270,000
	受取寄付金	マンスリーサポーター・単発寄付・賞金 9,552,708
	受取助成金等	休眠預金等 17,083,552
	事業収益	研修講演費、夜職サミット参加費等 1,187,382
	その他収益	3,250
	<b>経常収益 計</b>	<b>28,096,892</b>
経常費用	事業費	性風俗で働く人の法律・生活相談事業 20,851,869
		性風俗で働く人への食料支援事業 567,172
		性風俗で働く人への講座・イベント事業 740,963
		性風俗で働く人への情報発信・啓発事業 846,101
		支援者への講座・イベント事業 433,810
	管理部門	<b>633,365</b>
	<b>経常費用 計</b>	<b>24,073,280</b>
当期経常増減		<b>4,023,612</b>
法人税、住民税及び事業税		<b>0</b>
当期正味財産増減		<b>4,023,612</b>
前期繰越正味財産額		<b>7,174,953</b>
次期繰越正味財産額		<b>11,198,565</b>

## 2023年度の寄付収入内訳



団体概要		
役員	理事長	坂爪真吾
	副理事長	徳田玲亜 (弁護士)
	理事	中島満香
	監事	鈴木晶子 (臨床心理士)
アドバイザー	橋本久美子	
	鈴木愛子 (弁護士)	
	三上早紀 (弁護士)	
	小田恵	
	坪野吉孝 (医師・東北大学客員教授)	
住所	〒950-2072 新潟県新潟市西区松美台8-69 2F	

# Specail Thanks !

SDGs JAPAN SCHOLARSHIP  
岩佐賞



公益財団法人ウェスレー財団  
KIFUBAR

日本弁護士連合会  
GOLDジャフバ賞

新潟県フードバンク連絡協議会

(一定額以上のご支援や物資支援をいただいた法人さまを掲載しています。敬称略)

## 2023年度も皆さまの温かいご支援に支えられました

### 支援を募っています

風テラスの相談の現場では、「誰にも言えなかった。はじめて自分のことを話した」と泣き出してしまう方が少なくありません。そのたびに、なぜ社会の誰もその人の苦しみに気づき、手を差し伸べられなかったのか、抱えてきた深い孤独を感じるとともに、風テラスに相談してくれた勇気ある一歩に胸を打たれます。

情報があふれ、モノがあふれる時代の中で、孤独や困難、貧しさに押しつぶされまいと必死に性風俗の世界で生きている人がいます。見えづらい性風俗で働く女性の一人一人が抱える困難を誰もが分け合える希望ある未来を望みます。ですが、今はまだ私たちの相談窓口が必要です。

多くの声を受けとめ、その声を社会に届けていくために活動を続けていきます。

### 月額サポーター

毎月の寄付を通して風テラスの活動を応援できる「ふ～サポ」メンバーを募集しています。READYFOR等で受付中です。



### 単発寄付

お気持ちをまとまった金額でご支援してくださる単発のご寄付も歓迎です。congrantからはカード決済でもご支援いただけます。

特定非営利活動法人風テラス  
2023年度活動報告書

info@futas.org

Email

<https://futas.org/>

Website



編集・米盛菜美

### 銀行振込でのご支援

●GMOあおぞらネット銀行 支店名：法人営業部 (101)  
普通預金 口座番号 1906032 トクヒ) フウテラス

●ゆうちょ銀行 店名 一二八 (イチニハチ) 店番 128  
普通預金 口座番号 4342474 トクヒ) フウテラス

\*ゆうちょ銀行間の送金の場合 記号 11290 番号 43424741